## 昭和五十三年政令第三百七十九号 司法書士法施行令

定に基づき、この政令を制定する。 十七号)第五条第三項及び第五条の二第三項の規内閣は、司法書士法(昭和二十五年法律第百九 (認定手数料)

第二条 法第六条第四項の受験手数料の額は、 第一条 司法書士法 (以下「法」という。) 第三 条第五項の手数料の額は、 (受験手数料) 一万九百円とする。

(司法書士試験委員)

第三条 司法書士試験委員は、非常勤とする。 益となる事業を行う者) (法第六十八条第一項の政令で定める公共の利

第四条 法第六十八条第一項の政令で定める公共 請しようとする当該各号に定める者とする。 る事業について不動産の権利に関する登記を申 の利益となる事業を行う者は、次の各号に掲げ 機構をいう。第七号及び第十五号において同一号)第二条第四項に規定する農地中間管理 の推進に関する法律(平成二十五年法律第百合会、農地中間管理機構(農地中間管理事業 改良区連合、農業協同組合、農業協同組合連号)による土地改良事業 土地改良区、土地 定する資格を有する者 定により土地改良事業を行う同法第三条に規じ。)又は土地改良法第九十五条第一項の規 土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五

号)第二条第一項第三号の規定による地籍調 協同組合又は漁業協同組合連合会 会、水害予防組合、水害予防組合連合、 整理組合、農業協同組合、農業協同組合連合 国土調査法(昭和二十六年法律第百八十 森林組合、生産森林組合、森林組合連合 土地改良区、土地改良区連合、土地区画 、漁業

三 土地区画整理法(昭和二十九年法律第百十 理組合又は同法第三条第一項若しくは第三項 九号)による土地区画整理事業 土地区画整 の規定による施行者

法律第百十号)第二十八条第一項第一号、第る障害の防止等に関する法律(昭和四十二年 同法第四十五条第一項の規定による施行者 百三十四号)による新住宅市街地開発事業 公共用飛行場周辺における航空機騒音によ 新住宅市街地開発法(昭和三十八年法律第 独立行政法人空港周

> 項の規定による施行者組合又は同法第二条の二第一項若しくは第三 都市再開発法(昭和四十四年法律第三十八 ) による市街地再開発事業 市街地再開発

律第六十五号)第七条各号に掲げる事業 農業経営基盤強化促進法(昭和五十五年法 中間管理機構 農

規定する事業 号)第七条第一項第一号又は第二項第三号に 農住組合法(昭和五十五年法律第八十六 農住組合

合又は同法第百十九条第一項若しくは第三項 に関する法律(平成九年法律第四十九号)に密集市街地における防災街区の整備の促進 の規定による施行者 よる防災街区整備事業 防災街区整備事業組

究・整備機構 (平成十一年法律第百九十八号) 第十三条第 項第四号の事業 国立研究開発法人森林研 国立研究開発法人森林研究・整備機構法

備支援機構 の事業 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整 三条第一項第一号から第六号まで及び第四項 援機構法 (平成十四年法律第百八十号) 第十 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支

法律第百八十二号)第十二条第一項第一号か ら第四号まで及び第三項の事業 人水資源機構 独立行政法人水資源機構法(平成十四年 独立行政法

定による施行者である場合を除く。) 備の促進に関する法律第百十九条第一項 第一項又は密集市街地における防災街区の整 理法第三条第一項、都市再開発法第二条の二 年法律第百号)第十一条第一項第一号から第 十六号まで、第二項第一号から第三号まで及 第六号から第八号まで並びに第三項の事 独立行政法人都市再生機構(土地区画整 独立行政法人都市再生機構法 (平成十五 の規

地中間管理機構 第一項第一号及び第二項第一号の事業 独立 済機構法 (平成十六年法律第百号) 第十二条 二条第三項に規定する農地中間管理事業 .政法人日本高速道路保有・債務返済機構 農地中間管理事業の推進に関する法律第 独立行政法人日本高速道路保有・債務返 農

#### 附

1 する。 (施行期日) この政令は、 昭和五十四年一月一日から施行

る特例 (国立研究開発法人森林研究・整備機構に関す

2 条第一項及び第十条第一項の事業」とする。 立研究開発法人森林研究・整備機構がこれらの 第八条第一項及び第十条第一項の規定により国 のは、「第十三条第一項第四号並びに附則第八 規定に規定する業務を行う場合には、第四条第 (独立行政法人都市再生機構に関する特例) 十号中「第十三条第一項第四号の事業」とある 国立研究開発法人森林研究・整備機構法附則

3 二条第一項及び第十四条第一項の事業」とす 務を行う場合には、第四条第十三号中「第三項 の事業」とあるのは、「第三項並びに附則第十 法人都市再生機構がこれらの規定に規定する業 項及び第十四条第一項の規定により独立行政 独立行政法人都市再生機構法附則第十二条第

構に関する特例) (独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機

4 より独立行政法人日本高速道路保有・債務返済 係法施行法第二十三条第一項の事業」とする。 四号中「第二項第一号の事業」とあるのは、 機構が同項の業務を行う場合には、第四条第十 六年法律第百二号)第二十三条第一項の規定に 「第二項第一号並びに日本道路公団等民営化関 日本道路公団等民営化関係法施行法 (平成十

号 (昭和五九年三月六日政令第二四

する。 この政令は、 昭和五十九年四月一日から施行

附

則

(昭和六〇年七月一二日政令第1

この政令は、昭和六十年七月十八日から施行 二一号

六号) 附 則 (昭和六二年三月一三日政令第三

する。 この政令は、 昭和六十二年四月一日から施行

この政令は、 号 附 (平成三年三月一五日政令第三三 平成三年四月一日から施 行す

附 号 則 (平成五年七月三〇日政令第二七

第一条 この政令は、農業経営基盤の強化のため 成五年八月二日)から施行する。 0) (施行期日) 関係法律の整備に関する法律の施行の日 伞

> 第五条 農業経営基盤の強化のための関係法律 する。 行令第一条の三に規定する農業協同組合)」と 促進事業にあつては、当該法人又は旧農地法施 三条第二項ただし書に規定する農地保有合理 年法律第七十号)第二条の規定による改正前の のための関係法律の整備に関する法律(平成五 農地保有合理化民法法人(農業経営基盤の強化地保有合理化法人である農業協同組合)又は旧 地保有合理化事業にあつては、当該法人又は農 法第三十四条の規定により設立されたもの(農 とあるのは「農地保有合理化法人であつて、 は農地保有合理化法人である農業協同組合)」 民法第三十四条の規定により設立されたもの同条第七号中「農地保有合理化法人であつて、 施行令」という。)第一条の三に規定する同法 律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の れたもの、農業経営基盤の強化のための関係法 律第八十九号)第三十四条の規定により設立さ 以下同じ。)であつて、民法(明治二十九年法 五号)第四条第二項に規定する法人をいう。 経営基盤強化促進法(昭和五十五年法律第六十 令第四条第一号中「農地保有合理化法人(農業 実施について従前の例によることとしている間 (司法書士法施行令の一部改正に伴う経過措置) 第三十四条の規定により設立された法人(以下 整備に関する政令の施行の際現に存する同令第 業経営基盤強化促進法(昭和五十五年法律第六 たもの」とあるのは「農地保有合理化法人(農 第八十九号)第三十四条の規定により設立され 下同じ。)であつて、民法(明治二十九年法律 り同項に規定する旧農地保有合理化促進事業の 十五号)第四条第二項に規定する法人をいう。 は、前条の規定による改正後の司法書士法施行 (農地保有合理化事業にあつては、当該法人又 「旧農地保有合理化民法法人」という。)」と、 二十七年政令第四百四十五号。以下「旧農地法 一条の規定による改正前の農地法施行令(昭和 (昭和二十七年法律第二百二十九号) 以 民

## 号 附 (平成六年三月一八日政令第四

この政令は、 平成六年四月一日から施行す

号 附 則 (平成九年三月一九日政令第四

この政令は、 平成九年四月一日から施行す

六号) 附 則 (平成一二年三月一七日政令第七

この政令は、 平成十二年四月一日から施行す

# 則 《平成一四年五月三一日政令第一

施行する。 る法律の施行の日(平成十四年六月一日)から この政令は、 都市再開発法等の一部を改正す

### 00号) 附則 (平成一五年三月二八日政令第一

この政令は、 平成十五年四月一日から施行す

四附六号)

(平成一五年一〇月一日政令第四

(施行期日)

この政令は、公布の日から施行する。 (平成一五年一二月一七日政令第

附 則 五二三号)

(施行期日)

**第一条** この政令は、密集市街地における防災街 から施行する。 る法律の施行の日 (平成十五年十二月十九日)

(罰則に関する経過措置)

第二条 この政令の施行前にした行為に対する罰 則の適用については、なお従前の例による。

〇号) 附 則 (平成一六年四月九日政令第一六 抄

人とみなす。

(施行期日)

第一条 この政令は、 行する。 則 (平成一七年六月一日政令第二〇 平成十六年七月一日 Iから施

から施行する。 この政令は、施行日 (平成十七年十月一日)

附 則 (平成一七年六月二九日政令第二

二九号)

(施行期日)

この政令は、公布の日から施行する。 則 (平成一七年一〇月二一日政令第

七年十月二十四日)から施行する。 法等の一部を改正する法律の施行の日 街地の整備を推進するための都市再生特別措置 この政令は、民間事業者の能力を活用した市 三二二号) (平成十 第一条 この政令は、改正法の施行の日

号 附 則 (平成一九年三月二日政令第三九

(司法書士法施行令の一部改正に伴う経過措置)

に関する法律の施行の日から施行する。 この政令は、一般社団法人及び一般財団法人

附 則 (平成一九年三月七日政令第四〇

この政令は、平成十九年四月一日から施行す

(平成二〇年三月三一日政令第

二附 七号) 抄

第一条 この政令は、平成二十年四月一日から施 行する。 (施行期日)

二八五号) 附 則 (平成二一年一二月一一日政令第

法律(以下「改正法」という。)の施行の日第一条 この政令は、農地法等の一部を改正する 第二十六条 前条の規定による改正後の司法書士 施する同項に規定する旧市町村農地保有合理化 例により同項に規定する旧農地売買等事業を実 合であるものは同号に定める農地保有合理化法 める農地保有合理化法人とみなし、農業協同組 法附則第十二条第一項の規定によりなお従前の 法施行令第四条の規定の適用については、改正 (平成二十一年十二月十五日) から施行する。 であるものは同令第四条第一号及び第七号に定 法人であって、一般社団法人又は一般財団法人 (司法書士法施行令の一部改正に伴う経過措置)

四附号訓 則 (平成二四年三月二二日政令第五

第一条 この政令は、法の施行の日 年七月一日)から施行する。 (罰則の適用に関する経過措置) (平成二十四

(施行期日)

第三十二条 この政令の施行前にした行為に対す る る罰則の適用については、なお従前の例によ

六 附 号 訓 則 (平成二六年二月二六日政令第四

(施行期日)

第一条 この政令は、法の施行の日 (平成二十六

五号) 抄 年三月一日)から施行する。 (平成二六年三月二八日政令第九

(施行期日)

十六年四月一日)から施行する。

2 第三条 第五条の規定による改正後の司法書士法 則第三条に規定する旧農地保有合理化事業(以一項の規定によりなお従前の例により改正法附理化法人をいい、同条及び改正法附則第四条第 ものに限る。次項及び次条において同じ。)は、下「旧農地保有合理化事業」という。)を行う という。) 第四条 (第一号に係る部分に限る。) 施行令(次項において「新司法書士法施行令」 の規定の適用については、旧農地保有合理化法 人(改正法附則第三条に規定する旧農地保有合

(前の例により行われる旧農地保有合理化事業) 所則第三条及び第四条第一項の規定によりなお分に限る。)の規定の適用については、改正法と、新司法書士法施行令第四条(第八号に係る部の号に定める農地中間管理機構とみなす。 は同号に掲げる事業とみなし、旧農地保有合理 化法人は同号に定める者とみなす。

四附号訓 則 (平成二七年三月一八日政令第七

する。 この政令は、平成二十七年四月一日から施行

則

(平成二七年三月二七日政令第一

この政令は、平成二十七年四月一日から施行 〇五号)

する。

(平成二七年八月一二日政令第1

行の日(平成二十七年八月二十六日)から施行施設整備支援機構法の一部を改正する法律の施に関する法律及び独立行政法人鉄道建設・運輸 この政令は、地域公共交通の活性化及び再生 九 附 一 号 則

三九六号) 附 則 (平成二八年一二月二六日政令第 する。

この政令は、平成二十九年四月一日から施行

五八号) 則 (平成二九年六月一四日政令第

行する。 の施行の日(平成二十九年六月十九日) (施行期日) この政令は、水防法等の一部を改正する法律 から施

四四号) 則 (平成三〇年八月二〇日政令第1

業者の参入の促進に関する法律の施行の日 成三十年八月三十一日)から施行する。 《者の参入の促進に関する法律の施行の日(平この政令は、海外社会資本事業への我が国事

(平成二

### 附 号) 則 抄 (令和元年九月一一日政令第一〇

第一条 この政令は、農地中間管理事業の推進に 正法」という。)の施行の日(令和元年十一月 関する法律等の一部を改正する法律(以下 る規定は、当該各号に定める日から施行する。 一日)から施行する。ただし、次の各号に掲げ 改

定 改正法附則第一条第二号に掲げる規定の条の規定並びに次条から附則第四条までの規 施行の日(令和二年四月一日) 定を除く。)、第六条から第八条まで及び第十 正規定、第四条の規定(前号に掲げる改正規 第三条中農地法施行令第三十条第一項の:略

第二条 第六条の規定による改正後の司法書士法 法人又は一般財団法人であるものは、同号に定うものに限る。以下同じ。)であって一般社団事業(以下「農地売買等事業」という。)を行 施行令(次項において「新司法書士法施行令」 める農地中間管理機構とみなす。 前の例により同条第一項に規定する農地売買等 いい、同項及び同条第二項の規定によりなお従 法附則第三条第一項に規定する旧円滑化団体を の規定の適用については、旧円滑化団体(改正 という。) 第四条 (第一号に係る部分に限る。) (司法書士法施行令の一部改正に伴う経過措置)

2 であるものを除く。)は同号に定める者とみな 従前の例により行われる農地売買等事業は同号 附則第三条第一項及び第二項の規定によりなお 分に限る。)の規定の適用については、改正 に掲げる事業とみなし、旧円滑化団体(市町村 分に限る。) の規定の適用については、改正法新司法書士法施行令第四条 (第七号に係る部

〇五号) 附 則 (令和元年一二月二五日政令第二

律の施行の日 この政令は、 (令和二年一月五日) から施行す 地域再生法の一部を改正する法

九附号副 則 (令和二年六月二四日政令第一九

この政令は、 公布の日から施行する

この政令は、 五号) 附 則 (令和三年七月一四日政令第二〇 特定都市河川浸水被害対策法等

の一部を改正する法律附則第一条第二号に掲げ

ა
施行する。 施行する。
か ら